今月の表紙

鳴原稜(りょう)くん（小綱木）が釘付けになった先にあったのは道の駅かわまたに設置された巨大スノードームでした。「雲がたくさんあるよ」「プレゼントには何が入っているのかな？」と夢中でスノードームの中を見ていました。

マチイロ
マチを好きになるアプリ

App Store からダウンロード　Google Play で入手しよう

ios 用　android 用

▼川俣町各種 SNS はこちら

Instagram　Twitter　Facebook　Ka-LINE

毎月 1 日発行
川俣町役場
福島県伊達郡川俣町字五百田 30
Tel (024)566-2111 ㈹
https://www.town.kawamata.lg.jp/
E-mail/soumu@town.kawamata.lg.jp

CONTENTS - 主な内容 -　2022_12 December

03 かわまた暮らし
14 高原の宇宙
16 躍動、川俣っ子
18 地元密着通信
20 まちのわだい
22 川俣美より/KAWAMATAGRAM
24 ワクワク/川俣探訪記
26 各課からのお知らせ
34 わたしの夢

暮らしの手帳

人の動き -population-

令和4年11月1日現在(前月比)

人口	11,482（−35）
男	5,659（−17）
女	5,823（−18）
世帯	4,717（−15）

今月の納税 -tax payment-

固定資産税 3 期
国民健康保険税 6 期
介護保険料 6 期
後期高齢者医療保険料 5 期
納期限は 12 月 26 日㈪です。

今月の休日当番医 -doctor-

4 日	済生会川俣病院	TEL 566-2323
11 日	むとうこどもクリニック	TEL 565-2435
18 日	十二社内科外科	TEL 597-8907
25 日	村上医院	TEL 565-3637
30 日	あんざい整形外科クリニック	TEL 565-3511
31 日	済生会川俣病院	TEL 566-2323

※あんざい整形外科クリニックには、2 名（整形外科、内科含む）の医師が在所しています（在宅当番医時のみ）。

ー特集ー

かわまた暮らし

新型コロナウイルス感染症流行後、より関心の高まりつつある地方への「移住」。「移住」は地域活性化に繋がるとされ、全国の自治体で移住・定住促進施策を展開していますが、移住者の集落内での孤立化や都心部の生活とのギャップなどの理想と現実の違いにより移住まで至らなかったり、移住しても数年でまた別の自治体へ移住してしまったりと未だに多くの問題を抱えています。

山木屋地区に住む吉村雅夫さんと弘子さんご夫婦は、27年前に千葉県から川俣町へ移住してきた先輩移住者です。「移住してきた時に八木地区をはじめ、たくさんの人が集落でのルールを教えてくれたり野菜を持ってきてくれたり、すごく優しくしてくれてね。少しでも恩返しができたらいいなって思っているよ」と頬を緩めていました。

今月の特集では「移住」をテーマに移住促進に向け活躍する人を紹介するとともに川俣町の「移住」の現状と町が抱える課題について考えます。